

# 図書館だより

'77・9

## ブラウジング・ルームのこと

伊藤 信夫 (栄養学)

近ごろ、書店を訪れる度に実に多くの新刊書がうず高く積まれているのに驚く。それなのに読書人口は必ずしもふえていないし、若い人たちの本離れが目立つという。たしかに最近、学生に趣味を書いてもらすと、音楽とか音楽鑑賞とする人が多いのに、読書とする人は非常に少くなっている。読書の習慣のつく小学生のころは、漫画とかテレビに時間をうばわれ、更に人生とか社会といったことに眼のひらかれるころは、頭や眼は受験勉強で活字につかれ、余暇があっても、読書ということにはならず、まず音楽ということになるのであろう。音楽に縁遠い私共には音楽を楽しむ若い人たちが美しいと共に、その人たちが更に読書の楽しみを知ったなら、どんなに素晴らしいことだろうと思う。

本学の図書館の利用率は決して低くないようだが、やはり今一步ののびがほしい。大学の図書館は第一に専門の研究や学習のためのものであるから、その時々ベストセラーがすぐならべられるわけではないが、関係の専門書の他に古典、各種の全集や図鑑、更に評価の定まっている人文、社会、自然科学各分野の書籍がよく揃っているのだから、望みさえすれば、私共にも心の糧を与え、また知的好奇心を十二分に満してくれ

る。学生はこの時にこそ、読書の楽しみを知ってほしい。

私の属している家政科は学問の範囲が広く、ある意味では専門性は稀薄とも言えるが、その代り家政というものでは、単なる技術的な面以前に、家を構成し、家をあずかる人間そのものが問題になる。従って家政学を学ぶ人は、「家政学」を離れても、良識と豊かな人間性が要求される。それにはまず読書ということになる。

では、読書の楽しみを知らない人、図書館に足を運ぶのをおっくうに感じている人たちのためにはどうしたらよいのだろうか。単なる説得では効果は期待できない。そこで考えることなのだが、専門的な図書館は別としても、学校の図書館には「閲覧室」だけがあるのではなくて図書館の中に、或いは図書館の隣りに「ブラウジング・ルーム」もあってよいのではないだろうか。落ち着いた雰囲気をかもし出す装飾、照明の下、軟かいソファのあるブラウジング・ルーム——かすかにバックミュージックが流れていてもよい——が講義の合間の暇な学生を静かな読書にまねきよせる。読書は別に求道でもないのだから、こんな部屋があってもよいように思えるのだが。

## 図書館をあなたのものに

— 家政科の学習の為に —

### 1. はじめに

図書館を学生の皆さんにより多く利用していただきたいと、この「図書館だより」第3号、第4号において、「図書館をあなたのものに」というテーマの下に特集を組んできました。今回は、学生全体数からみて比較的人数が多いわりには、利用があまり多いとはいえない家政科の学生の皆さんを対象としました。利用が伸びない原因には、第一に関係の図書が少なすぎる、その上に新しい図書、魅力ある図書がない等々、いろいろあると思いますが、一方図書館を利用する際、皆さんに知られていないことが案外多いのではないのでしょうか。たとえば本を貸りる際、帯出証に書名や日付のほかに数字を記入しますがこの数字（請求番号、登録番号）が具体的にどんな意味をもっているかご存知ですか？ 家政科に関連ある雑誌でどんなものが図書館にあるか知っていますか？ 皆さんが試験やレポートの時に、より上手により効果的に図書館を活用していただければと考えてこれからその利用について紹介していきたいと思ひます。なお、家政科の各先生に図書を推薦していただきましたので利用して下さい。

### 2. 資料の所在について

図書館にはいろいろの種類の資料がありますが、これらは閲覧室と書庫の両方に置かれています。皆さんが日常図書館にいらして目にふれている閲覧室内のいわゆる開架図書と呼ばれているものは、図書館にある資料のほんの一部のものです。開架図書のなかには、一般図書、文庫本、新書本のほかに、辞典、便覧、ハンドブック等の参考図書が参考図書コーナーに、各先生方が講義に関係ある図書を指定された図書が指定図書コーナーに、雑誌類が雑誌コーナー（最新号は新着雑誌コーナー、バックナンバー

は閲覧室北側の学術雑誌コーナー）にあります。これらは、自由に利用できますが、スペースの関係等々から大部分のものは、カウンターの奥の書庫にあります。残念ながら学生の皆さんは通常は書庫に入って資料を深すことはできません。

### 3. 資料の探し方について

では実際に皆さんが図書館にいらして本を探してみ、読みたい本を開架図書のなかからみつめることができなかつた場合のことを考えてみましょう。図書館では、読みたい本を探し出す手段として目録をいくつか用意しています。現在、当図書館には約90,000冊の図書や雑誌がありますが、その中から目的の資料をいちいち現物にあたって調べなくとも探し出すことができます。目録は閲覧室のカウンター横にあり、1冊1冊の図書や雑誌はそれぞれの目的に応じた形式のカードになっています。当図書館では目録として分類、著者・書名、逐次刊行物の3種類を作っています。著者名や書名があらかじめわかっている特定の本を探す時には、ABC順に並んでいる著者・書名目録のなかから探して下さい。特定の本ではなくて、日本料理、又は食品衛生学に関するものではどんな本があるか知りたい時にはどうしたらよいか？ 案外こういった利用の仕方が多いのではないのでしょうか。この場合には、分類目録が非常に役に立ちます。1冊の本が図書館に入るとまず数枚のカードを作る前に、その本の主題により分類されます。これは一つには関連ある図書を同じ主題のところにまとめて探しやすいようにするのです。たとえば栄養学に関するものはだいたい同じところにまとめるようにという具合です。分類は、日本十進分類法（NDC）というきまりによって行っています。この詳しい表は「図書館利用のしおり」に載っています。又、目録コ



ナーの壁面にもかかっています。この表の中で家政科の皆さんに特に関係の深い部分をここに紹介してみました(4ページ参照)。

これによってこれらの数字がそれぞれ意味をもって図書の内容を示していることがわかっていただけたと思います。帯出証に記入する数字(請求番号)はこの分類の数字を表わしています。この数字は又、本の背にラベルがはってあるのをご存知と思いますが、ここにも記入されています。書庫の中や閲覧室内にある図書も、この数字の順番に従って各々並べられています。最初慣れないうちは、分類目録は特にひきづらいと思いますが、この分類目録を使いやすくする試みの一つとして索引を一部ですがつくっています。分類索引と呼んでいるもので、これは目録コーナー横のカウンターの上にあります。普通の言葉から分類の数字をみつける為のもので、ABC順に並んでいます。日本料理をひくと596.1という数字をみつけることができます。これで日本料理に関する図書のカードは、596.1の分類目録ケースの中にあることがわかります。分類目録ケースの各々のひきだしの見出しにもそのケースの中の内容を示す案内がついていますので実際に利用する時には、これらをよくみて利用して下さい。カードに書かれている事項が何をあらわしているか、又実際に探している図書が目録ケースの中にあつた場合、それをどのようにしてカウンターの係員に請求するかは、「図書館利用のしおり」をご覧ください。

次に図書館に有無はかかわりなく家政科に関する資料にどんなものが出版されているか、又雑誌の論文にはどんなものがあるか知りたい時の探し方を案内してみましょう。

「日本家政学文献集」第1集(1959)、第2集(1959~68)があります。これは、日本家政学会が創立10周年と20周年を記念して編集、発行したもので主として日本における家政学に関する文献を網羅したもので家政学のみならず関連分野も含まれています。単行本、辞典、雑誌、紀

要等の主題別文献が、A食物、B被服、C住居、D燃料、E児童、F家族関係、G家族経済、管理、H家政学原論、I農村問題、J家庭科教育、K外国文献に、わかれてリストアップされています。この本は参考図書コーナーの590.3のところにあります。

昭和女子大学から月刊で出版されている「学苑」という雑誌がありますが、毎年7月号は、生活美学紀要(昭和49年までは、被服学紀要)にあてられています。これには過去1年分の被服学関係の単行本、学術雑誌、大学紀要等に発表された論文が主題別に、染色、被服整理、被服構成等にわけられ、生活美学年報(昭和49年までは、被服学年報)として載っています。又毎年10月号は、生活科学紀要(昭和49年までは、食物学紀要)として出版され、食品、栄養関係の学術雑誌、大学紀要等に発表された論文の題目著者名、掲載雑誌名が1年分、生活科学研究年報(昭和49年までは、食物学年報)の形で載っています。「学苑」は現在、当図書館では昭和13年12月号以降を所蔵し、今後も継続する予定です。(ただし古い時代のものは欠号が多い)これは書庫の中の雑誌のところにあります。

このほか「雑誌記事索引」(国立国会図書館編)や「私立大学、短期大学紀要類論文題目索引」(東京都私立短期大学協会図書館研究委員会編)によっても、家政科関係の記事を探することができます。試験の時やレポート作成などで単行本に貸出しが集中している時には上記のような資料を参考にして雑誌等も利用することができます。もしそれらの掲載雑誌等が、当図書館に無い場合でも他館からの複写等によって利用することもできます。まだいろいろありますが、あとは「図書館利用のしおり」や「図書館だより」第3号、第4号等を参考にして実際に皆さんが、図書館を利用して下さい。わからないことがありましたら、どんどん係員に聞いて、係員を利用して下さい。図書館では、皆さんの一人でも多い利用を心から期待しております。

## 日本十進分類表

## 家政科関係主要項目

400	自然科学	593	衣服・裁縫・服装原論 但、被服史・服飾史は383を見 てください
490	医学	593.1	和服・和裁
492	臨床医学・治療学	593.2	中国服・朝鮮服
492.6	食餌療法・病人食・治療食	593.3	洋服・洋裁
493	内科学	593.4	被服材料・被服実験・裁縫器具
493.9	小児科学・育児学・乳幼児栄養	593.5	衣類整理保存・シミ抜
498	衛生学・公衆衛生学	593.6	家庭洗濯・仕上
498.1	学校保健	593.8	履物
498.5	栄養学・食品衛生学・食品分析	594	手芸・編物・袋物・造花・家庭染色
498.8	健康診断・学校病院給食	595	理容・化粧 但、化粧の歴史は383を見てく ださい
500	工 学	596	食物・料理 但、食物史・食生活史は383を 見てください
580	繊維工業他	596.1	日本料理・会席料理
586	繊維工業・繊維製品・繊維試験	596.2	中国料理・朝鮮料理
587	染色加工（色染学） 但、家庭染色は594、染色工芸 は753を見てください	596.3	西洋料理
588	食品工業	596.4	調理・炊飯
590	家事・家政学	596.5	漬物
590.1	家政学原論	596.6	パン・ケーキ・アイスクリーム
590.3	家政学辞（事）典	596.7	飲物・カクテル
590.4	家政学論文集・随筆・雑記		
590.8	家政学全集・叢書		
591	家庭経済・家庭管理・家庭経営		
592	家庭理化学・家庭電気機械・家庭 燃料・厨房具		

日本十進分類法 新訂6A版（JAL刊）より抜萃

## 当館所蔵 家政科関係主要雑誌

## A 家政科全般

月刊消費者・家政学雑誌（日本家政学会）・家庭科学（家庭科学研究社）・家庭科教育（家庭教育社）・暮らしの手帖・消費生活（北海道生活環境部消費生活課）

## B 被 服

衣料情報レビュー（大阪樟蔭女子大学）・衣生活（衣生活研究会）・洗濯の科学（洗濯科学協会）装苑（文化出版局）

## C 調理・栄養学

調理科学（調理科学研究会）・衛生化学（日本薬学会）・栄養と料理（女子栄養大学）・栄養と食糧（日本栄養食糧学会）・栄養学雑誌・学校給食・からだの科学（日本評論社）・食品衛生学雑誌（日本食品衛生学会）・臨床栄養（医歯薬出版）・Mass Feeding（月刊給食の改題誌）・食品工業（光琳書院）・食の科学（日本評論社）・食生活



## 家政科関係参考図書

参考図書コーナーにある辞典類のうち主なものについて紹介してみました。

## 1. 家政科全般

主婦の友生活百科事典ファミリエ 全14巻  
主婦の友社 昭49～50  
主婦の友実用百科事典(全16巻別巻1巻)  
を改訂した若い女性の日常生活に密着した  
内容の百科事典

現代女性百科 保育社 昭48

家政学辞典 ミネルヴァ書房 昭44  
大学、短大の家政科、食物科、被服科等の  
学生用に編集された辞典

## 2. 被服・服飾関係

被服学事典 小川安朗他編 朝倉書店 昭50

服飾事典 田中千代編 同文書院 昭48

服装大百科事典 全2巻 被服文化協会編  
文化服装学院出版局 昭44

日本服飾史辞典 河鍔実英著 東京堂 昭44

世界服飾文化史事典 河鍔実英他編 東京堂  
昭48

図版に美術史上の重要作品を使用

## 3. 栄養・食品関係

原色食品図鑑 建帛社 昭50

原色写真を用いて多くの食品を掲載し、目  
で見て食品の特質を調べられる

日本食品事典 医歯薬出版 昭43

食品事典 全12巻 河野友美編著 真珠書院  
昭49～50

豊かな食生活の為の食物の正確な知識の百  
科、一冊にまとめた食品大事典もあります

基礎食品化学ハンドブック 二国二郎、秦忠  
夫編 朝倉書店 昭43

栄養・食品実験便覧 医歯薬出版 昭49

栄養学ハンドブック 技報堂 昭49

食生活情報ハンドブック 沢野勉編著 学建  
書院 昭50

食生活に関する活字情報源と関連機関のリ  
ストを中心としたガイドブック

## 4. 給食・治療食関係

病院給食ハンドブック 医歯薬出版 昭41

全国病院治療食応用献立集 医歯薬出版 昭  
48(雑誌「臨床栄養」の別冊)

学校給食実務必携 吉田寿雄著 第一法規  
昭43

## 5. 料理関係

調理科学事典 河野友美他編 医歯薬出版  
昭50

調理の過程にあらわれる様々の現象を科学  
的に解明した事典

味覚事典 2冊 奥山益郎編 東京堂 昭47  
～49

西洋料理編、日本料理編の2冊から成り、  
故事来歴、逸話、料理法等を解説

ルース料理百科事典 全6巻

「図書館だより」第4号に紹介されています

日本料理法大全 石井治兵衛著 清水桂一訳  
補 第一出版 昭41

日本古来の料理をとりあげた日本料理の種  
本として珍重されていたものの現代語訳

中国料理百料理論と名菜譜抜粋 600選 顧中  
正編著、中国菜譜研究会 昭44

## 6. 法令関係

栄養指導関係法令通達集 学術出版

北海道栄養調理食品関係実務提要(加除式)

北海道衛生部保健予防課編 帝国地方行政  
学会 昭49～52

栄養改善法、栄養士法、調理師法等を収録  
食品衛生関係法規集 厚生省食品衛生課 中  
央法規

## 7. 特殊資料

日本紋章学 沼田頼輔著 人物往来社 昭43

家紋大図鑑 丹羽基二著 秋田書店 昭46

## 推薦図書リスト

担当科目に関連ある図書を各先生方に推薦していただきました。番号に○印のあるものは図書館に入っているもので、数字は請求番号を示し、名前に入っている図書はその先生の研究室にあります。

## 家政学原論・家庭経営 伊藤弘子先生

- ①結婚の理論 J. T. ランディス, M. G. ランディス共著 家政教育社 (367-L22 伊藤弘)
- ②愛の理解 L. A. カーテンダール著 ぎょうせい (367-Ki57 伊藤弘)
- ③暮らしの論理—生活創造への道 山本松代著 ドメス出版

## 栄養学 伊藤信夫先生

- ①栄養学 吉川春寿監修 小池五郎他編 朝倉書店 (498.5-E39)
- ②新・栄養学講座シリーズ (全12巻) 朝倉書店 (498.5-Sh62)

## 食品化学・食品材料学 山本良三先生

- ①食品学上下 女子栄養大学出版部 (498.5-J78)
- ②食品化学 岩田久敬著 養賢堂 (498.5-I 97)
- ③生化学教程 カールソン著 朝倉書店 (464-Ka 67)

## 調理学・調理学実験 阿部典子先生

- ①「こつ」の科学—(調理の疑問に答える) 杉田浩一著 柴田書店 (596-Su46)
- ②食欲の科学 河村洋二郎編 医学書出版 (498.5-Ka95)
- ③台所の理学 河野友美著 光生館 (596-Ko78)
- ④味のからくり 河野友美著 光生館 (596-Ko78)
- ⑤台所を見なおそう 河野友美著 光生館 (596-Ko78)

## 被服構成学 三浦房江先生

- ①被服の立体構成(理論篇) 石毛フミ著 同文書院 (593.3-H54)
- ②服飾デザインへのアプローチ 高尾澄江著 同文書院 (593-Ta48)
- ③マテリアル・デザイン・裁縫 細野久著 文化出版局 (593.3-H95)

## 被服構成学 古瀬絢子先生

- ①生活造形の美学 谷田閔次著 光生館 (757-Ta87)
- ②被服の立体構成(理論篇) 石毛フミ著 同文書院 (593.3-H54)

- ③服装研究 (「今和次郎集8」) ドメス出版 (380.8-Ko71)

## 被服材料学 北川誠二先生

- ①高分子工学講座(全19巻)の中
  1. 高分子の化学
  12. 化学繊維の染色と加工
  14. 高分子材料試験方法
 高分子学会編 地人書院 (578-Ko78北川)
- ②被服材料学 中島利誠著 光生館
- ③被服消費科学(「最新被服科学シリーズ10」) 奥山春彦・水梨サツ子監修 相川書房 (593.08-Sa22-10)

## 被服整理学・被服衛生学 山崎治子先生

- ①体系被服学 小川安朗著 光生館 (593-O24)
- ②被服学事典 朝倉書店 (593-H54)
- ③繊維製品消費科学ハンドブック 光生館 (586-N 86)
- ④衣服衛生と着装 渡辺ミチ著 同文書院 (593.5-W46)
- 5 その他 人生と暮らしについて
  - ①人間の暮らしと被服の学 馬場直教著 理想社 (590-B12)
  - ②ラインの河辺—ドイツ便り— 犬養道子著 中央公論社 (293-I59)
  - c 暮らしの論理—生活創造への道— 山本松代著 ドメス出版
  - ④私のアメリカ 犬養道子著 新潮社 (295-I59)
  - e 美を求める心 岡部伊都子著 大和書房
  - f おりおりの心 岡部伊都子著 講談社
  - g 永遠の女性 G. ル・フォル著 ヴェリタス書院
  - ⑤生活考—くらしを考える— 加藤秀俊著 文化出版局 (590.4-Ka86)

## 育児学 三浦良一先生

- ①最新育児学 内藤寿七郎著 同文書院 (493.9-N29)
- 2 最新育児学 井美等著 建邦社
- 3 育児学 平井信義著 光生館



## 書齋訪問

### 黒川昭和先生 (教育学)

夏休みに入ってすぐのある日の午後、教職課程をとられる学生は必ずお世話になる黒川先生の研究室におじゃました。

教育実習は6月末から7月、8月末から9月にかけての期間に集中しているため、先生もこの期間が一番お忙しい時期とか。「近年教職を志望する学生が増えてきており、昨年度は北海道の教員採用登録試験で登録者が大学・短大合わせて36人、今年も全国的に行なわれた教職教養一般教養の模擬試験の成績が非常に良いのですよ。」と大変うれしそうに語られる。

教育実習に行く学生を「積極的に子供たちの中に飛び込んでいって愛情を持って接してあげなさい」と送り出される先生が、現在一番関心を持たれておいてなのは『教育実習の理論とそ



の実践』というテーマであり、教育実習の実習校を回られてその研究授業を参考にされているとのこと。

「現在の教育実習のあり方については、教育学の研究者の中でもいろいろ研究されているのです。いきなり教壇に立つということは、学生にとって非常に負担であるので実習以前の指導が検討されています。例えば子供たちの観察というようなことからの段階を踏んで成される準備により、学生にある程度子供たちの心理的洞察力が付き、教科に対する教育的な見方ができてから実習に入ることができるように早い時期からの事前指導をしていきたいと、現在理論の方を研究中なのです。」と語られ、そのためにこの夏休み中もずっと研究室に通われるご予定とうかがった。

研究室には、びっしりつまった本棚が置かれ、机の上の壁にはスイスの大教育家ペスタロッチの肖像画が掲げられていて、先生の研究に対するご熱意が感じられる。

「教育にとって一番大事な事は精神的な鼓舞であり、どのようにしたら生甲斐を持って生き生きと活動するか、真の精神の鼓舞者たり得るのか現在もなお私自身修養中です。」とあくまでも謙虚な先生なのである。

### 「東京都立中央図書館蔵合集収載翻訳文学索引」 (請求番号903-To64) 昭52刊

現在、種々刊行されている世界文学全集のように複数の著作をひとまとめにして刊行したものを合集と総称するのであるが、これらには代表的な文学作品が体系的に収められており利用価値が高い。しかし、数多くの合集の中からある作品を捜したい、又は特定作家の作品を網羅的に見たいといった要求があっても、当館のカード目録では全集中の作品全てが個別のカードになっておらず、残念ながら捜し出せない場合もある。

そこでこのような時に利用して頂きたいのがこの索引である。本書は都立中央図書館で所蔵する約230種の合集に収められた2,400人の著者の邦訳作品約10,000点の索引であり、合集一覧、著者別作品目録(原綴名、生没年、国名も付記)、著者名索引(欧文)、作品名索引(和文)で構成されている。1945年から75年の間に刊行されたものにつき収録し、詩、戯曲、小説が中心である。但し各文庫、児童文学、中国文学、個人全集は載っていない。

もとより、ここに収録されている合集が当館に無い場合もあろうが、他館利用の手段もあるので大いに利用されたい。

## 伊藤義生先生 (アメリカ文学)

この4月に赴任された伊藤義生先生は昭和19年のお生まれ。大学ご卒業以来9年間、仁木商業高校で教鞭を取って来られた。

○先ず、ご専門の方について少々お伺いしたいのですが——専門はアメリカ文学ですが主に1920年代、具体的にはF. S. フィッツジェラルドです。

○フィッツジェラルドの魅力と言いますと——彼の人生そのものがドラマティックです。若くして名声と富を得ますが、その後酒とパーティーに明暮れた末に44才で死んでいます。その一生は丁度20年代当時のアメリカ社会と符合しており、自らその時代を生きたととも言えますが、反面時代を反映した作品の中にも中産階級の堅実な考え方やモラルがかい間見られ、彼の実生活とは相反している点も又興味深いと思います。

○学生にも読まれているようですか。映画化されたものも幾つかあったりで名前は大抵知っている様ですし、卒業までには原作を読む機会もあるようです。

○先生ご自身のお好きな作品は——The Great Gatsby など代表作ですが印象深く良い作品です。大学時代、卒論にも取り上げましたし。

○ところで、洋書を読む学生が少ないようですが——専門に勉強しているからには忍耐強



く少しづつでも読んでほしいですね。

○そのほかご専門外にはどのようなものをお読みにになりますか——何でも読みます。推理小説も好きですし画集などもよく見ます。また、子供の頃から興味を持ち続けているのがシ

ルク・ロード、特に中国奥地、タクラマカン砂漠の国々、樓蘭王国や“彷徨える湖。として知られるロブ・ノールなど。今では中共の核実験が行なわれているあたりですが、現在も猶簡単には行き難い所であるためか今だに興味の尽きない所です。できれば行ってみたいですね。

○おしまいに学生の皆さんに一言——勉強に限らず、クラブでも社会的な活動でも自分の目標や目的を定めて学生生活を送ってほしいと思います。それと遅刻をしないように。

4階の先生の研究室、所狭しと並ぶ書棚に囲まれた机上には彫刻の施された大型辞書用の大きな書見台が据えられている。学生時代、某デパートのカレンダーの台紙と大きな温度計の背板を利用してお作りになったものだそうである。

## 北海道の森林植物図鑑 全2巻 (請求番号472-H82)

北海道国土緑化推進委員会 昭51刊

## 資料紹介

秋風もさわやかにハイキングの季節である。出かける前に予備知識として、また眼に焼きついた草花の名を知るためにこんな図鑑はいかがですか……。

従来の植物図鑑の多くは本州の自然に合わせて作られているが、この図鑑は名前に冠されている様に北海道の森林、原野や路傍で見られる植物が、花の咲く時期など北海道の自然にあわせて編集されている。種類は樹木編280種、草花編320種以上におよんでいる。掲載順は植物の分類順になっており、1種1ページを使用、各々について和名、北海道で用いられている主な別名、科名、学名、形態、分布、生態、用途などわかりやすく解説してある。特に花期、花色、花序、葉序、生活型は一目でわかるよう色分けしてあり、樹木編、草花編ともに学名索引と和名索引が巻末についている。美しいカラー写真を、ながめているだけでも楽しい図鑑である。植物の一生、森林のしくみ等の記事もまた楽しい。



## 学生の声

### 「濫読・雑学」

#### 短国1A 宮崎ちひろ

「私は自分の仕事を神聖なものにしようとしていた。ねじ曲ろうとする自分の心をひっぱたいて、できるだけ伸び伸びした真直な明るい世界に出て、そこに自分の芸術の宮殿を築き上げようともがいていた。」

私の読書はまさに濫読である。誰の、どういった作品に没頭する、という読み方をあまりした例がない。だから本棚は非常にや賑かだ。古典、現代小説、論説、詩集、そして絵本まで同居している。中学一年の頃から集めた文庫本が主で、この趣味のきっかけになったのが冒頭に書いた有島武郎『生まれ出づる悩み』だった。当時、絵の方をかじっていた私に、担任の先生が薦めて下さったもので、今では専用のカバーを掛けられて、本棚の片隅に収まっている。この小説のモデルとなったのが、画家として岩内を舞台に活躍し、後に『北海道文化賞』などを受賞した、木田金次郎である。私には、彼の書簡をおりまぜて綴られたそれが小説というよりは一冊の画集のように思われた。晩秋の山々、厳しい冬の怒濤、エネルギーな漁場風景、それらが皆、飾り気のない素朴な表現で書かれていたが、そのために却って強く印象に残ったのだらうと思う。これが発端で私は、頻りに文庫本を買うようになった。小さな本の中の世界に魅かれたからだ。行き当たりばったりの選び方が今も続いている。

しかし、比較的多くのジャンルに手を伸ばしているつもりなのに友だちとの会話の中で「えっ、何の本？」と聞かなければならないことがままある。どうやら私は、大抵の人が読んできたものは読まず、人の読まないものを読まないものを、という読書をしてきたらしい。裏的な性格があるのかもしれない。一度出発点に戻

てみようか。そのために、この秋にでもスケッチブックをかかえて岩内を訪ねてみようと思っている。

### 本の読み方

#### 文英2年 田中淳子

先日、「ハムレット」の札幌公演があった。小田島雄志先生の講演もあり、「シェクスピアは言葉でできて人間存在をみせてくれる。」という言葉があった。その時の「ハムレット」はシェクスピアの言葉のしゅれを日本語に生かした台詞を中心としたものだった。この公演をみてからシェクスピアの作品のほんとうのおもしろさは英語にかかれた言葉にあることを知った。翻訳された本では、英語のしゅれが十分に生かすことができないし、また翻訳者により多少違いがでてくる。といて、原書を読むにしても辞書で一語一語引いては時間がかかり、日本の小説を読むようなわけにはいかないし、また全然違った意味になってしまうことがある。まずは、原書を正確に読むことができる英語の力が必要であり、最初は、それでせいっぱいかもしれないが本をたくさん読むことにより、日本の小説を読むように読むことができると思う。また、作品の時代背景、風土、宗教などを考慮に入れて読むことが必要である。日本では一刻を争う桜の花もイギリスではひと月もふた月も長持ちする。「花の命は短くて苦しきことのみ多かりき」という句も異なった風土にいる人々にはわからない。また日本の本を読む時でも、過去の時代を今の視点から見れば、全然違った意味にとることがある。「古い目を以って古を見る」ことが要請される。この態度は、他の国の本を読む態度と同じであると思う。そして異なった風土に住む人たち、他の国の人たちを理解する態度でもあると思う。前に言った「桜の花」のように、思ってもみないことが意志の疎通を妨げることがあるのである。

## 資料紹介

## 雑誌『赤い鳥』(請求番号P900-A29)

子供の成長に、欠く事の出来ない童話や、童謡を大正から昭和にかけ、多く生み出したのが『赤い鳥』であった。

『赤い鳥』は大正7年、鈴木三重吉により創刊された雑誌で、昭和4年127冊を出して休刊となったが、昭和6年復刊し、昭和11年その死により10月追悼号をもって終刊となり、全196冊であった。

彼は、大正5年長女誕生に際し、児童読物の低級さに又父となった文学者である自分が、愛児に「お話」を与えられない事に気づき、子供のための立派な童話、童謡を作ろうと思い、『赤い鳥』を創刊し、一生を『赤い鳥』に捧げた、と言っても過言ではなかった。

龍之介、藤村、万太郎、浩二、末明、白秋、八十、鏡花、露風等が、寄稿、又は執筆した『赤い鳥』は近代児童文学、童謡の確立、及び子供の綴方、自由詩、自由画の指導の功績があり、坪田謙治、新美南吉、与田準一等の多くの童話、童謡作家を生み出した。

(6ページより)

## 栄養指導 (給食管理) 小林淑枝先生

- ①新病氣と食事の事典 医歯薬出版(492.6-B99-1 小林・石田)
- ②実用視聴覚媒体 第一出版
- ③幼児のおやつ 第一出版
- ④保育所の副食とおやつ 第一出版
- ⑤統計のまとめ方・つかい方 田中恒男編 医歯薬出版(350-Ta84)

## 調理学実習 天野千代先生

- ①食品大事典 河野友美著 真珠書院(596-Ko78)
- ②日本料理一味への道一 柴田書店(596.1-Sh18)
- ③日本料理一庖丁への道一 柴田書店(591.1-Sh18)
- ④日本料理全書 土井勝著 日本放送出版部(596.1-D83天野)

## 調理学実習 石田登貴子先生

## 赤い鳥の本 (請求番号918.6-A29h)

『赤い鳥』の作家たちによって生みだされた秀れた童話、童謡を集め、単行本として世に問うたものが『赤い鳥の本』というシリーズであり、内容としては鈴木三重吉『古事記物語』、菊池寛『三人兄弟』、小川末明『小さな草と太陽』他がある。

## 『赤い鳥』童謡集

(請求番号918.6-A29h)

雑誌『赤い鳥』では童謡に当時の第一線の作曲家を起用して曲を附し掲載したが、それを後にまとめ美しい挿絵を入れて刊行した童謡集が『赤い鳥』童謡集である。西条八十の「かなりや」、北原白秋の「あわて床屋」「赤い鳥小鳥」など今日もお歌われているものがかなりある。

『赤い鳥』全196冊は、日本近代文学館により昭和43年限定版として複製され、今回『赤い鳥の本』全15巻、『赤い鳥』童謡全8集に雑誌『赤い鳥』創刊号1冊が附録とされて、ほるふ出版から複製・再刊された。

- ①料理のあとさき 土井勝・土井信子著 創元社(596-D83)
- ②一皿に生命こめて 香川綾著 講談社
- ③クッキング百科(全16集) 女子栄養大学出版部
- ④見ながらつくれる(既刊39巻) 女子栄養大学出版部(596.08-Mi36)

## 食品衛生学・栄養指導 丹貞一先生

- ①食生活情報ハンドブック 沢野勉編 学建書院(498.5-Sa96)
  - ②食品衛生化学の知識 細貝祐太郎・川井英雄共著 中央法規
  - ③栄養指導ハンドブック—対象別指導の要点— 藤沢良知他著 第一出版(498.5-F66)
  - ④食品衛生化学 天野慶之他著 朝倉書店
- 註：②と④どちらとも言えないが一般的には②が良いかな？ データが沢山集められている。